

=====
統計メールニュース No.874(2016.9.16)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

=====
【本日の公表データ】

■小売物価統計調査(構造編)(平成 27 年(2015 年)分結果)

《結果概要》

○消費者物価地域差指数(全国平均=100)の「持家の帰属家賃を除く総合」を都道府県別にみると、東京都が 104.0 と最も高く、次いで神奈川県(103.5)、埼玉県(101.7)、兵庫県(101.1)、山形県(100.8)などとなった。

一方、最も低いのは群馬県及び宮崎県(共に 96.4)で、次いで鹿児島県(96.7)、岐阜県(97.0)、佐賀県(97.2)などとなった。

最も高い東京都は、最も低い群馬県及び宮崎県の 1.08 倍となり、前年の 1.10 倍から 0.02 ポイント縮小した。

○都道府県別に「総合」を平成 26 年分結果と比較すると、物価水準が全国平均(=100)以上となった都道府県数は、9 都府県から 11 都府県に増加した。

<http://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/gaiyou.htm>

=====
□調査へのご理解・ご協力をお願いします。

—あなたの答えが、未来への答えになる。—(広報動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=Z9pZpUuj-hw>

=====
配信先の変更・配信中止など

<http://www.stat.go.jp/info/mail/index.htm>

ご意見、ご感想、配信に関するお問合せなど

stat_m-news@soumu.go.jp

=====
このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報システム課統計情報企画室

stat_m-news@soumu.go.jp